

## 令和4年度授業カブラッシュアップ研修会（小学校・国語）

授業カブラッシュアップ研修会は、学習指導要領の趣旨や内容等に基づいた指導改善を図るため、モデル授業の提案を中心とした授業改善研修会を通して、教員の一層の授業改善・充実の促進に資することを目的に行われています。今号は小学校国語科の研修内容について紹介します。

### 《部会テーマ》 言語活動を通して一人一人に資質・能力を育む国語科の授業改善

プロジェクトチーム（○：授業者）	学年・単元名	本時の指導目標
一関市立一関小学校 ○伊藤 ルミ子 教諭 一関市立興田小学校 菊池 千永 教諭 一関市立川崎小学校 金野 友彦 教諭	第5学年 伝記を読み、自分の生き方について考えよう。 （教材名）「やなせたかし ーアンパンマンの勇気」	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。

#### 【視点1】「読むこと」において、単元で育む資質・能力(考えの形成)を具体的な姿で明確にし、それを基に児童の学習の様子を見取り、次の指導に生かしていく評価のあり方

指導と評価の一体化を図るため、資質・能力を発揮している児童の姿を具体的に想定したことで、明確な視点をもって学習状況を見取り、より効果的に児童への声掛け等を行うことができました。その結果、本時において、選んだ言葉や考えの根拠を再検討したり、考えと結び付ける経験等を思い起こそうとしたりする児童の姿が見られました。

#### 【視点2】言語活動を通して資質・能力を育むための「考えの形成」を主たる指導事項にした課題解決型の単元構成の工夫

単元を通しての課題を「勇気の花がひらくときに助けや励みになる言葉や考え方を見つけよう。」と設定することで、解決のための学習活動として、文章の理解を基にすることや、自分の経験や既知の知識等と結び付けて考えることに必然性をもたせました。本時においても、課題解決に必要な内容として「言葉や考え方を選んだ根拠として自分の経験や既知の知識を想起できるような視点」を児童と共有したことで、より主体的な学びの実現につながりました。



【視点に沿って交流する児童の様子】

#### 【視点3】子供が粘り強い取組の中で自らの学習を調整することができるような場面の設定

本時では、考えの形成のための交流を位置付け、交流後に自分の考えを見直す場面を設定しました。他の児童の「根拠となるエピソード」や「これからの自分」などを参考に、もう一度自分の選んだ言葉や考えと根拠が結び付いているかを吟味して内容を付け足したり、修正したりする児童の姿が見られました。

【本時の ICT 活用】学習シートを写真に撮ってロイロノートで共有することで、本時の前半で書いた文章をお互いに読み合うことが可能になり、選んだ言葉や考えと根拠が結び付いているかという視点に沿った検討に効果的でした。

### 【講義】言語活動を通して一人一人に資質・能力を育む国語科の授業改善 ～「考えの形成」を中心として～（県南教育事務所 指導主事 八重樫 陽子）

- 1 考え方(学習指導要領「解説」から)
  - ・文章の内容や構造を捉え、精査・解釈しながら考えたり理解したりしたことを基にする
  - ・既知の知識や理解した内容と結び付ける
- 2 単元に合わせた目標の具体化 ※〈例〉は本単元における具体
  - ①何に基づくのか(文章の理解) ⇒ 〈例〉やなせたかしの「人物像」・「功績」・「筆者の捉え(評価)」※「伝記」の読み方に留意
  - ②何を結び付けるのか ⇒ 〈例〉自分の経験・既知の知識・理解した内容
  - ③何についての考えをまとめるのか ⇒ 〈例〉助けや励みにしたい生き方や考え方・それを選んだ理由・これからの自分について
- 3 指導と評価の一体化のために
  - 具体的な児童の姿と評価場面を設定 ⇒ 達成するための指導の工夫 ⇒ 児童の姿(学習状況)の見取り
  - ⇒ おおむね満足できる状況に至らない児童への支援 ⇒ 評価

#### 研修者アンケートから(抜粋)

- \* 具体的な姿(ゴール)を明確にして授業を組み立てることの大切さを改めて感じた。
- \* 「経験等の引き出し方」について、読んで理解したことに基づくものになるように、視点を与えたり、既習から想起させたりすることが大切だと感じた。
- \* 何を・どのように書くのか見通しをもてるようにしたり、書かせたい具体的な内容を指導者がしっかり考えたりするようにして、「考えの形成」を図っていきたい。
- \* 一人一人に焦点を当てて力を付けていくことが大事だと思った。児童の具体的な姿をイメージして授業づくりに取り組んでいきたい。

